

# スプーン・フォーク作り

間伐材を使用したスプーン・フォーク等オリジナルの食器を作ります。太さ、曲がり具合、樹皮の色や模様等、様々なこだわりをもって自分だけの世界に1つだけのスプーンまたはフォークを制作します。

場所	研修室	対象	小学生以上
所要時間	1時間～1.5時間	人数	交代制で 100名程度
時期	全シーズン	天候	制限なし (雨天時のみも可)
指導	なし	提出書類	教材注文票
経費	1セット400円 (スプーンまたはフォーク、木の柄、紙やすり)		



室内での活動

活動の教育的効果	(1) 様々な形や模様、手触りの異なる木があることに気づく。 (2) 間伐材を使用することで自然の大切さやSDGsについて考える機会となる。 (3) 自分で作ったカトラリーを使用することで、食への関心を深めることができる。
準備するもの	団体が準備するもの □個人：なし □団体：新聞紙、クラフトキット（食堂で購入し、事務室にて受取）、ポスカ
	交流の家が貸し出すもの □グルーガンセット □延長コード □ <sup>みつろう</sup> 蜜蝋ワックス □ボール盤 ※クラフトキットと一緒に貸し出し。ただし、数には限りあり。
	備考 □作り方はホームページよりダウンロードが可能。

活動の流れ

# スプーン・フォーク作り

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	10分	準備	□事務室にて材料を受け取る	
	5分	説明	□スプーンまたはフォークの作り方の説明	
	20~50分	作成	□柄の中心にドリルが当たるようにボール盤に固定する。 □ボール盤の電源を入れてドリルを下げ、穴をあける。 □穴にグルーガンでボンドを半分程度入れ、スプーン・フォークの先端を穴に差し込む。 □差し込み部をしっかりとグルーガンで固定する。 □柄にやすりをかける。 □ポスカで絵や字をかき、オリジナル作品を作る。 □蜜蝋 <small>みつろう</small> ワックスを塗る。	
	5分	片付け	□机を雑巾で拭き、床を掃除する。 □物品を事務室に返却する。	
	想定されるリスク	□ボール盤の誤操作による接触事故 □グルーガンによるやけど		
指導のバリエーション	□グルーガンの代わりに木工用ボンドを使用すると、接着に時間はかかるが、やけどのリスクを軽減できる。 □蜜蝋 <small>みつろう</small> ワックスは自然素材のワックスで、木材の保護やツヤ出し、撥水等の効果がある。			

室内での活動



ボール盤での穴あけ作業